

寄付のカタチ

北海道環境財団では、皆さまからのご寄付を北海道環境未来基金の「一般寄付」若しくは「特定寄付」により受領し、活用しています。

一般寄付

- 寄付者が使途を指定しない寄付金です。
- 当財団の活動全般(公益目的事業及び法人運営)を支える資金として活用されます。

●北海道環境財団の主な事業

- 北海道環境サポートセンターの運営
- 「環境保全活動の推進」や「協働取組」などのコーディネート等
- 「環境教育の推進」のための機会の提供や学校・社会教育の支援等
- 「脱炭素社会実現」に向けた各種支援や取組推進のためのコーディネート等



特定寄付

- 寄付者が使途を指定する寄付金です。
 - 当財団の公益目的事業から使途を指定いただきます(事業新設可。応相談)。
- ※一部の事業については、指定いただけない場合もあります。

環境教育



地球温暖化ふせぎ隊

道内各地の小学校等で環境教育プログラムを用いた環境教室を実施しています。



水環境の保全

北海道e-水プロジェクト

道内の水環境保全活動を行う団体を支援する助成制度です。



※この他にもさまざまな公益目的事業を実施しています。詳しくは、北海道環境未来基金のホームページをご参照ください(裏面参照)。

自然環境の保全

辻井達一ラムサール湿地基金



北海道生物多様性保全活動連携支援センター

当財団の初代理事長の功績を記念して設立した『辻井達一ラムサール湿地基金』や北海道の生物多様性保全に取り組む『HoBiCC』の事業に活用します。



SDGs・ESD



北海道との共催事業「北海道フロンティアキッズ育成事業」を通じて、SDGsに関する教育支援を実施しています。



あなたのご支援が 北海道の環境を守ります

当財団の初代理事長 辻井達一先生。

湿地研究の世界的権威として国内外の湿地保全にご尽力されました。

そんな辻井先生も若い頃、調査・研究のためにお仲間9人と南米のパタゴニアに渡った経験があるそうです。

しかし、1\$=360円の時代に、半年間滞在するためには1人100万円の費用が必要でした。

何とか全員で行きたいという思いのもと、寄付集めに当たってくれたのがいくつかの企業だったそうです。

時が過ぎ、辻井先生は、多くの湿地を保全し、分野を越えてさまざまな人や団体に影響を与える方となります。

そして今日も同じような意志を持った人々が北海道のどこかで環境保全活動に取り組んでいます。

私ども公益財団法人北海道環境財団では、ご支援いただく皆さまの“志金”を北海道環境未来基金として拝受し、環境保全活動を支援しております。

北海道の素晴らしい環境を守り、そして活動に取り組む人々を応援するため、あなたのご支援をお待ちしております。



北海道環境未来基金

HOKKAIDO ENVIRONMENT FUTURE FUND

北海道のカタチをシンボライズし、2つの「h」は支え合う人をモチーフにしています。
カラーは、自然環境、未来をイメージしています。

北海道環境未来基金へご寄付をいただいた方(団体)には、PRIに利用できるロゴマークをご提供しております。

寄付の流れ

- 1 まずは当財団に寄付をご検討している旨ご連絡ください。
- 2 一般寄付・特定寄付に応じて、寄付申込書をご提出ください。
- 3 申込書の内容を確認後、指定の口座へお振込みいただきます。
- 4 ご希望に応じて「受領証明書」を送付し、ご寄付いただいたことを当財団ホームページで公表いたします。

※北海道環境未来基金への寄付は、寄付金(特別)控除などの税制優遇措置を受けることができます。詳細は、下記のホームページ、若しくは国税庁のホームページ「寄附金を支出したとき」をご覧ください。

〈お問合せ・ご相談〉

公益財団法人北海道環境財団 寄付担当までお願いします

電話 011-218-7811
メール e_kifu@heco-spc.or.jp
URL <https://www.heco-spc.or.jp/donation>



北海道の
素晴らしい
環境を
未来へ



環境を守る活動を
支援しませんか？

